

和合

No.150
2023. 1. 15

題字：三浦修次

主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……………2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- おらほの行事食……………3
- よつばっこ通信……………4
- わたしが描く和合の里……………5
- わたしから見た和合の里…5
- 畑にこんにちは……………6
- 人生100年時代……………6
- わごう駐在所……………7
- 和合の里の取り組み……………7
- 和合の里INFORMATION……………8

和合の里 あれこれ

村祭り

【沢新田 編】

令和4年（2022年）8月18日に村祭りが行われました。例年は子ども神輿と神楽が集落を回った後、建部神社の境内で神楽を舞いますが、今年は新型コロナウイルス対策のため、子ども神輿と神楽は集落を回らず、建部神社で神楽を舞い、その後直会が開かれました。以前は2軒～3軒の屋台と夜には特設舞台を組み、演歌ショーなどの催し物が開催されていましたが、しだいに内容を変え、カラオケ大会や抽選会などが開催されています。

しかし、ここ2・3年は新型コロナウイルス感染防止のため、これらの行事は自粛しています。

5年に1度は消防団、安全協会先導のもと、自治会役員と幼児から小学校低学年で神社の旗、梵天(男子)、花(女子)を持ち、集落を回ります。

また、50年に1度には年期祭が開かれ、例年以上に盛大な祭りが執り行われます。



行列の際に女の子が持つ花

新穀感謝祭と報恩感謝の祭り

令和4年（2022年）11月23日に新穀感謝祭が行われました。沢新田の新穀感謝祭は田の神様への感謝の奉告と併せ、本山勝之進盛徳への尽力を祀る報恩感謝の祭りが執り行われています。

本山勝之進盛徳はもともと、肥前佐賀の藩主鍋島侯の家臣で、明治元年（1868年）の戊辰戦争の際に政府軍に従って庄内に入り、戊辰戦争終結後はすぐ酒田県民正局に奉職した官吏です。明治2年（1869年）に起きた水害により沢新田・連枝2か村で田畑の被害が著しかった様子を見かね、新たに川を掘削し、川の流れを変えました。この新川の掘削により大きな耕地ができ、沢新田・連枝2か村の生活に活気が戻りました。

その功績を称え、沢新田では建部神社の境内に本山勝之進盛徳の碑を建て、毎年報恩感謝の祭りが執り行われています。当日は神事が執り行われた後、直会が開かれています。

お年夜

神様の年取りの日を意味しているお年夜が、令和4年（2022年）12月18日に執り行われました。沢新田のお年夜は事前に子ども達に短冊を配り、各自が願いごとを書いた後、短冊を回収し、ラミネート加工をして年明けの厄払い祈祷まで建部神社に飾ります。昔はお年夜当日には家々で餅を神に供え、夜には神社に集まっていたようです。例年は神社に子ども達も呼び、お供えしたお菓子を持たせていましたが、今年は新型コロナウイルス対策のため子ども達は呼ばずに開催され、後日に子ども達へお菓子をもらっていきます。



子ども達の短冊

雪囲い

毎年、11月の第1週か第2週に全戸から協力を得て、建部神社と皇大神社、宗傳寺の雪囲いが行われています。当日は神社の組とお寺の(宗傳寺)組に分かれて作業をし、雪囲いと同時に落ち葉掃除が行われています。

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



1 晴れ渡る青空のようにみんなを照らす存在になってほしい。

2 アンパンマンに夢中です。ぬいぐるみを使って話しかけると大喜びします。



阿達 そらちゃん
(吉方)

令和4年5月6日生まれ
パパ：翔平(しょうへい) ママ：妙(たえ)



3 ちょっかいをだしてくる兄の髪の毛をひっぱり泣かせていたこと。兄妹、仲良しです。笑

4 風邪をひいたお兄ちゃんとの隔離失敗！鼻水でなかなか寝れない日が続きました・・・。

5 明るく元気にすくすく育ってね。

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ

おらほの行事食



小豆ごはん

◆ 材料(4人分)

- ・米 5カップ
- ・小豆 0.3カップ
- ・水 5カップ

【初午】

2月の最初の午の日(2023年の初午は2月5日)。京都伏見の稲荷大社の祭神が稲荷山の三ヶ峯に鎮まった日にあたることから稲荷の祭日となりました。お稲荷様に小豆ごはんとお揚げをお供えし、五穀豊穰や商売繁盛、家内安全を祈願します。

◆ 作り方

1. 米を洗い、ザルにあげて水をきる。
2. 小豆を少しやわらかくなるまでゆでる。煮汁は残しておく。
3. 2の煮汁に1の米をいれ、1時間ひたす。
4. 2の小豆と水を3にくわえて、炊く。
5. 炊き上がったら、よく混ぜて完成。



余目第四幼稚園

よつばっこ通信



ホクホクの焼き芋！美味しかったね♡

実りの秋を迎え、今年も幼稚園で育てたさつまいもを使って焼き芋パーティをしました♪
特別ゲストにALTのサラ先生を迎えてホクホクの焼き芋と一緒に食べましたよ♡



焼き芋の準備中・・・



サラ先生と一緒に
焼き芋食べてるよ♡



祖父母参観がありました!!

大好きなおじいちゃんや
おばあちゃんを幼稚園にお
迎えし、一緒に歌ったり
踊ったりして楽しみまし
た。クラスの友達と一緒に
遊んでいるところもたく
さん見てもらって嬉しそ
うな子ども達でした♡



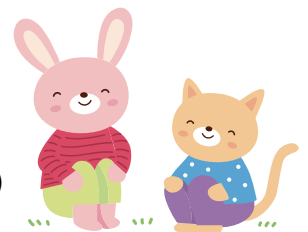
おじいちゃん・
おばあちゃんと
一緒にダンス♪



おじいちゃん・
おばあちゃん
ようこそ♡



友達と一緒に遊ぶのは楽しいね♡
おじいちゃん
おばあちゃんも
微笑ましそ
うに参観
されて
いました (*^^*)



余目第四小学校 6年生

わたしが描く和合の里



私がえがく和合の里は、自然が豊かで、友達と仲よく遊べる場所です。学校にある遊具で遊んだり、山に行って生き物を探したりとても明るくて、いい環境だなと実感しています。自然が豊かな四小学区が、私は大好きです。これからも、この豊かな自然を残していきたいです。



ぼくは幼稚園の時に小出新田に引っ越してきました。東京とちがって自然がたくさんあって楽しいです。東京には虫や魚など生き物が少なかったけれど、庄内町には生き物がたくさんいたから和合の里が好きになりました。これからも自然豊かな和合の里を大切にしたいです。



わたしが描く「和合の里」は、自然あふれるところです。家の庭に、やまばとが巣を作っています。鳴き声がよく聞こえます。和合の里は、空気おいしいです。水がきれいです。木がたくさん植えてあります。そんな和合の里を、これからもずっと守っていきたいです。

わたしから見た 和合の里



庄内町立余目第四小学校
図書支援ボランティア
地域コーディネーター

保科 千代

四

小8年目、図書室また読書に関わって多くの地域の方たちとの出会いがありました。読み聞かせボランティア「福本袋（ふくぶつくりー）」のメンバーは8年間で33名。活動後図書室に集まっていたのひとときを私も楽しませてもらっています。図書室の様々な仕事をお手伝い下さっている図書ボランティア「フェアリーズ」のメンバーとは、週2回の活動を通して親しくなり、みんなで食事に行ったりもしました。各教室に本棚を作って下さったのは児童のおじいちゃん。代本板の修理をして下さったのもおじいちゃん。図書室のゆるキャラの大きなぬいぐるみは古関の3人のおばあちゃんが作って下さいました。ワイワイ作業したことを思い出します。作ることが好きだからと季節ごとの飾りを届けて下さったボランティアさんには不器用な私は大変助けられました。図書関係以外でも、コロナ前は5年生のミシンの学習の助っ人として、5人の方がサツと集まって下さったのも有難かったです。学校のためなら、孫たち、子どもたちのためならと一肌ぬいで下さる和合の里のみなさんは、みな気さくであたたかい方たちでした。ところで、もう一つの出会い。8年間で出会った子どもたちは323名ほどです。特に低学年の子どもたちとは毎朝顔を合わせ、その元気をたっぷり頂いています。さて私は子どもたちに何かお返しできているかな？単純なことですが、笑顔と聞くことを心がけていきたいです。

畑にこんにちは！

齋藤 妙さん（吉方）

白鳥が田んぼにくつろぎ、きれいな青空が広がる日。今回伺ったのは吉方の齋藤妙さんのハウス内の畑です。

畑にはキャベツ、サニーレタス、大根、ブロッコリー、パプリカ、万願寺唐辛子などの野菜が植えてありました。野菜を作るときのポイントは「水と肥料を十分にあげること」と「大きく成長してからは消毒をしないで育てること」。そうすることで美味しい野菜ができると答えてくださいました。

こちらの畑はもともと、米の育苗ハウスだった場所を畑にして5年前から野菜を作り始めました。年齢を重ね、耕すことが大変と仰っていましたが、この畑の土には燐炭が入っているため、ふかふかで耕しやすいそうです。

畑をしていてうれしいことは日々成長する野菜を見ることや上手に育てることができたとき。また、品種改良された野菜を食べることも楽しみと仰っていました。



大根、サニーレタス、ブロッコリーがすくすくと成長していました

お元気な妙さんに健康の秘訣を伺うと自分でできることはなるべく自分ですることと毎日たくさんの野菜を食べることが大切と話していました。これからの時期は自家製の白菜漬けを食べるのが楽しみだそうです。

畑以外の楽しみは野球観戦で、毎年高校野球全国大会のテレビ中継はかかさず見えています。また、相撲観戦も好きで、毎場所のテレビ中継のほかマス席で観戦したこともあり、座った席が力士の出入口の近くで取組はもちろん入退場も迫力があって興奮したと仰っていました。

野菜作りや趣味の話などたくさんお話しいただきありがとうございました。



人生100年時代 ～“早期発見、早期治療” その後の生活が変わります～

庄内町保健福祉課
高齢者支援係
主任 佐藤 敦史



“早期発見、早期治療”という言葉に耳にしたことはありますか。また、これらの言葉から皆さんはどのようなことを連想するでしょうか。インターネットで検索してみると、がん治療に関する情報が上位に表示されます。

しかし、この言葉は、疾患にだけ当てはまる言葉ではなく、認知症についても同じことが言えます。

認知症の診断は初期段階であるほど診断が難しく、熟練した技術と高度な検査機器を要する検査が必要となるため、専門の医療機関への受診が不可欠です。認知症のような症状がでて、治る病気や一時的な症状の場合もあります。しかし、長期間放置することで、回復が不可能となってしまいます。また、認知症の診断を受けても、病名に応じた治療を早期に行うことで、症状の進行を遅らせることができます。

認知症の診断を受けることに対する不安から受診を避ける人、自分自身や家族が認知症であるということを知られたくないという人は多くいると思います。しかし、認知症が起因して何らかのトラブルにつながった時に、その方が認知症であることが地域で知られていない、または地域において認知症に対する理解が広まっていないとトラブルは重大化してしまいます。

異変を感じても、すぐに専門の医療機関に行ってよいものか判断に迷うかと思ってしまうので、まずは、かかりつけ医に相談しましょう。かかりつけ医がいない方は、地域包括支援センター（TEL 0234-45-1030）に相談することで、適切な対応につなぐことができます。



庄内警察署
菅原 直樹
(第四学区担当)

わごう駐在所

～冬場の交通事故に気をつけましょう～

気温がぐっと下がる冬の朝は、雪が降っていなくても路面が凍結していることがあります。路面凍結が発生する条件は、大気や路面の温度、時期によって様々ですが、特に凍結しやすい場所は、「橋の上」「トンネルの出入口」「陽の当たらない場所」「交差点付近」です。事故に遭わないために、冬道の安全運転5則を心がけた運転をお願いします。

冬道の安全運転5則

- ① スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- ② 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 危険がいっぱい。追越しはしない。



また、年末年始はお酒を飲む機会が増える時期です。

飲酒運転は、運転者だけでなく、運転者以外（車両の提供者、酒類の提供者、車両の同乗者）にも厳しい罰則があります。

一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

和合の里の取り組み

～廻館100歳体操クラブ「あいあい」～

廻館100歳体操クラブ「あいあい」は令和4年7月にスタートしました。毎週月曜日、廻館公民館に13人～14人ほどが集まり、元気にいきいき100歳体操をしています。

きっかけは区長から健康100歳体操についての話があり、住民に周知と参加希望のアンケートをとったところ28人ほどから参加したいと回答があったことから始まりました。

クラブの運営は廻館老人クラブに区長から「老人クラブで運営してほしい」と話が持ち掛けられ、廻館老人クラブが了承し、会員6名が持ち回りで鍵開けや椅子出しなどの準備や後片付けをしています。

体操のほかにも、12月にはお楽しみ会が開催され、白虎山光星寺の住職をお招きして写仏をした後、懇親会が開かれ、楽しいひとときを過ごしました。



すこっぷ三味線を堪能しました

11月23日(水)、第四学区老人クラブ連絡協議会の会員研修会が余目第四まちづくりセンター「和合館」で開かれ、「鳥海山すこっぱあず」によるすこっぷ三味線の演奏会が行われました。

すこっぷ三味線とは、スコップを三味線に見立て、栓抜きなどをばちの代わりに使い、音楽に合わせて、三味線の演奏スタイルでスコップを奏でます。

当日は約40名が集まり、すこっぷ三味線の迫力ある演奏を聞いたり、すこっぷ三味線の体験をしたりと楽しいひとときを過ごしていました。



プルタブ回収ご協力のお願い

今年度、余目第四小学校児童会ではソーナさんに車いすを贈ることを目標にみんなで力を合わせてプルタブを回収しています。

地域のみなさまからご協力いただき、約114キロのプルタブを回収することができました。しかし、まだ目標とする量には届いていないため、引き続き地域のみなさんからご協力いただけるとうれしいです。

回収ボックスは余目第四小学校、余目第四まちづくりセンター「和合館」にあるほか、近くに住んでいる四小児童に渡していただいてもいいです。

どうぞ、よろしくお祈りします。



亀ノ尾の里資料館 第100回企画展

「清河八郎を支えた

生家齋藤治兵衛家と妻お蓮」開催中

今回の企画展は、清河八郎を経済的に支えた生家齋藤治兵衛家の紹介と没後160年を迎える清河八郎の妻お蓮に関する資料を展示します。

◆期 間/12月17日(土)～令和5年2月12日(日)

◆時 間/午前9時00分～午後4時30分

◆入館料/無料

◆問合せ/和合の里を創る会事務局

(余目第四まちづくりセンター「和合館」内) TEL44-2162



❄️ 編集後記 ❄️

今年の干支は卯(うさぎ)年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴しています。

ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの生活に大きな影響を与えていますが、今年はそんな状況から大きく飛躍し、生活が向上する年になることを祈っています。

